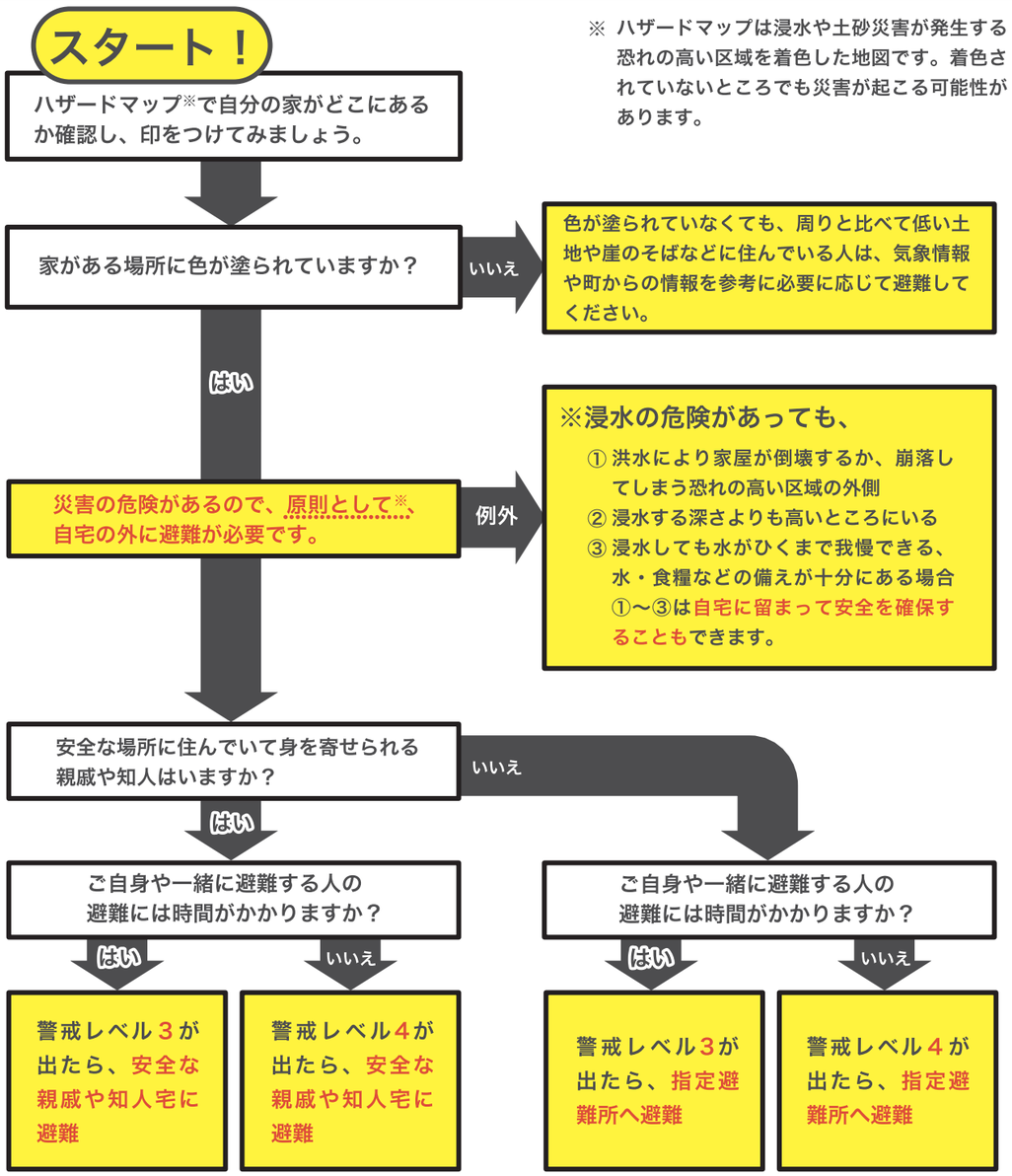
事前に確認しましょう

自宅は安全ですか？

避難行動判定フロー　あなたがとるべき避難行動は？



※ ハザードマップは浸水や土砂災害が発生する恐れの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

【保存版】安全な避難のための

ゆのまえ防災マップ

いざというときの連絡先

■警察への急報(事故・事件)　110番

多良木警察署　☎ 0966(42)4110

湯前駐在所　☎ 0966(43)3135

■消防への急報(火災・ケガ・救助)　119番

上球磨消防組合　☎ 0966(42)3181

東分署　☎ 0966(47)8119

■NTT 災害用伝言ダイヤル　171 番

町の防災サイトはこちらから

2021.03 改訂
湯前町役場
☎ 0966(43)4111

■いざという時の６つの心がまえ

・危険な場所は
ありませんか？



・雨に注意して
いますか？



・避難場所・避難経路は
決めていますか？





・非常持ち出し品を
準備していますか？



・普段の心構えが
肝心です。



・正確な情報と
知識が必要です。

■地震後の行動

①身の安全を確保



②すばやく火の始末



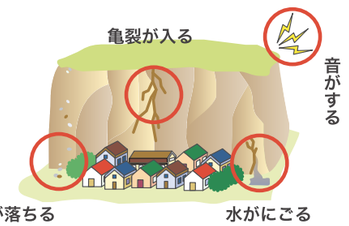
③出口の確保と
冷静な行動

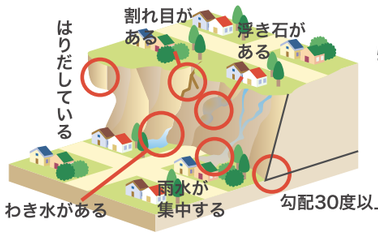


④大きな道を選んで
避難



■災害発生のまえぶれ





**こんながけには
特に注意**

■大雨が降り出したとき

気象情報を注意して聞く。

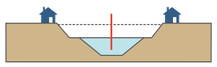


防災関係機関の広報を
聞き逃さないようにする。

氾濫に備えて家財道具の移動、
家周りの点検をする。



近くの川の水位上昇に
注意する。



崖地や河川の近くでは
早めに避難の準備をする。

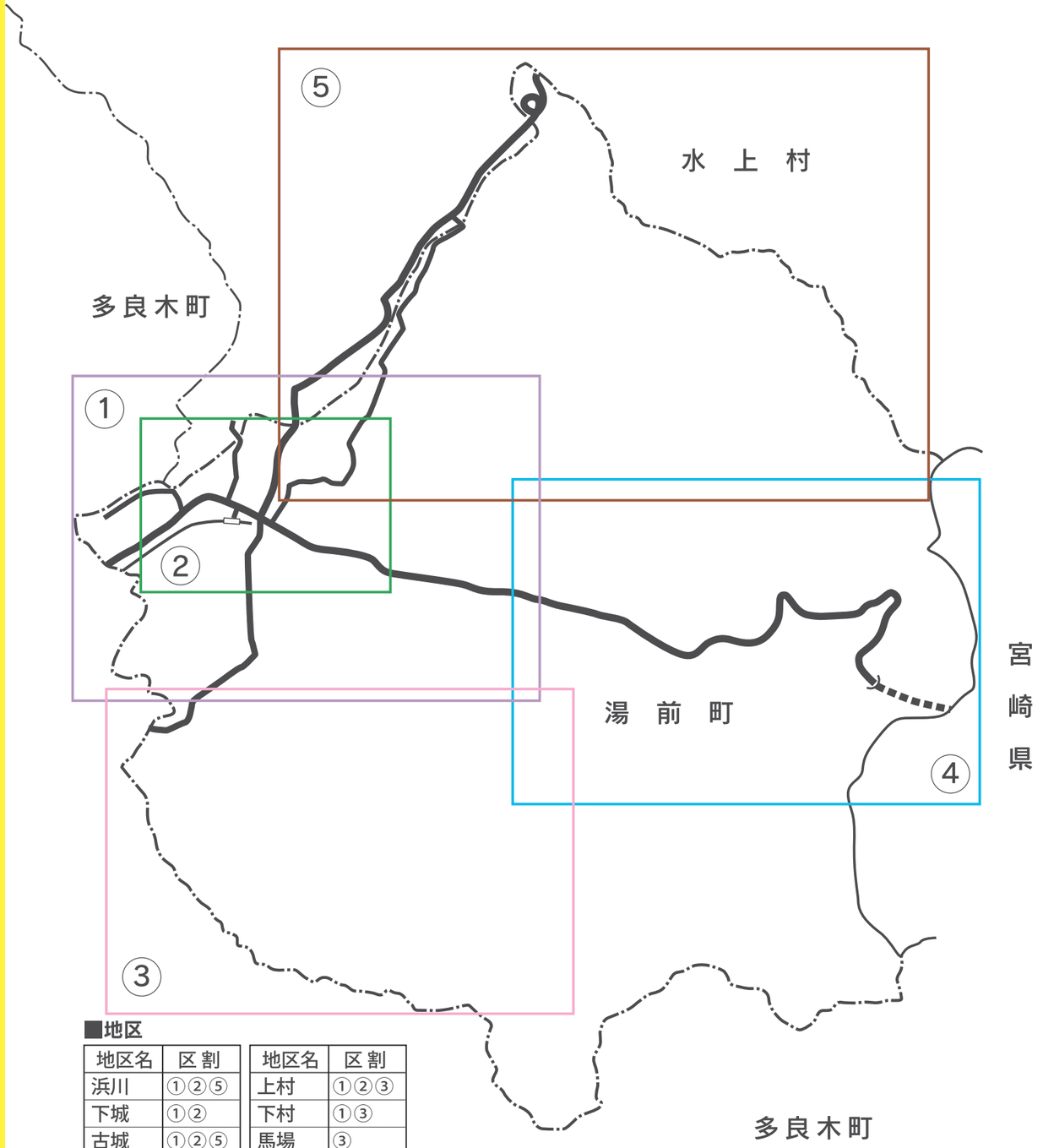


水防活動に協力する。



湯前町全図（区割図）

1：40,000
0　100　200　300　400　500m



■地区

地区名	区割
浜川	①②⑤
下城	①②
古城	①②⑤
浅鹿野	①②④⑤
上猪	④
中猪	①④⑤
野中田1	①②
野中田2	①②
野中田3	①②
田上	①②③

地区名	区割
上村	①②③
下村	①③
馬場	③
瀬戸口	③
上里1	①②
上里2	①②
上里3	①②
上染田	①②
下染田	①②
中里1	①②

地区名	区割
中里2	①②
下里	①②
植木	①②

■指定緊急避難場所と指定避難所

No.	避難場所
1	湯前町保健センター
2	湯前町避難防災交流施設
3	湯前町農村環境改善センター
4	湯前町B&G海洋センター
5	湯前町立湯前小学校
6	湯前町立湯前中学校

■福祉避難所

No.	避難場所
1	高齢者生活福祉センター湯愛
2	特別養護老人ホーム福寿荘
3	ゆのまえ美空

■公民分館一覧

No.	避難場所
2	下城公民分館
3	古城公民分館
4	浅鹿野公民分館
5	牧良公民分館
6	中猪公民分館
7	野中田１公民分館
8	野中田２公民分館
9	野中田３公民分館
10	田上公民分館
11	上村公民分館
12	下村公民分館

No.	避難場所
17	上里１公民分館
18	上里２公民分館
19	上里３公民分館
20	上染田公民分館
21	下染田公民分館
22	中里２公民分館
23	下里公民分館
24	植木公民分館

凡例			
	国道		土砂災害警戒区域
	主要地方道		土砂災害特別警戒区域
	県道		土石流危険箇所
	河川		急傾斜地崩壊危険箇所
	役場		河川等
1	避難場所	0.5m未満	洪水浸水想定区域
1	福祉避難所	0.5m~3.0m	
1	公民分館	3.0m~5.0m	
	避難経路	5.0m~10.0m	
AED	AED設置場所	10.0m~20.0m	
	R2.7豪雨浸水箇所	20.0m以上	

※凡例の説明については③(P.9)をご覧ください

1 : 11,600
0 100 200 300 400 500 1,000m

■指定緊急避難場所と指定避難所

No.	避難場所
1	湯前町保健センター
2	湯前町避難防災交流施設
3	湯前町農村環境改善センター
4	湯前町B&G海洋センター
5	湯前小学校
6	湯前中学校

■福祉避難所

No.	避難場所
1	高齢者生活福祉センター湯愛
2	特別養護老人ホーム福寿荘
3	ゆのまえ美空

■公民分館一覧

No.	避難場所
2	下城公民分館
3	古城公民分館
7	野中田１公民分館
8	野中田２公民分館
9	野中田３公民分館
17	上里１公民分館
18	上里２公民分館
19	上里３公民分館
20	上染田公民分館
21	下染田公民分館
22	中里２公民分館
23	下里公民分館
24	植木公民分館

2

湯前町役場
湯前町保健センター
湯前町避難防災交流施設
湯前町農村環境改善センター
湯前町B&G海洋センター
湯前小学校
湯前中学校
特別養護老人ホーム福寿荘
高齢者生活福祉センター湯愛
湯前保育園
中央公民館
JA
慈光こども園
児童館
山崎歯科
肥後銀行湯前支店
そのだ医院
むかえ歯科医院
詰所
ゆのまえ美空

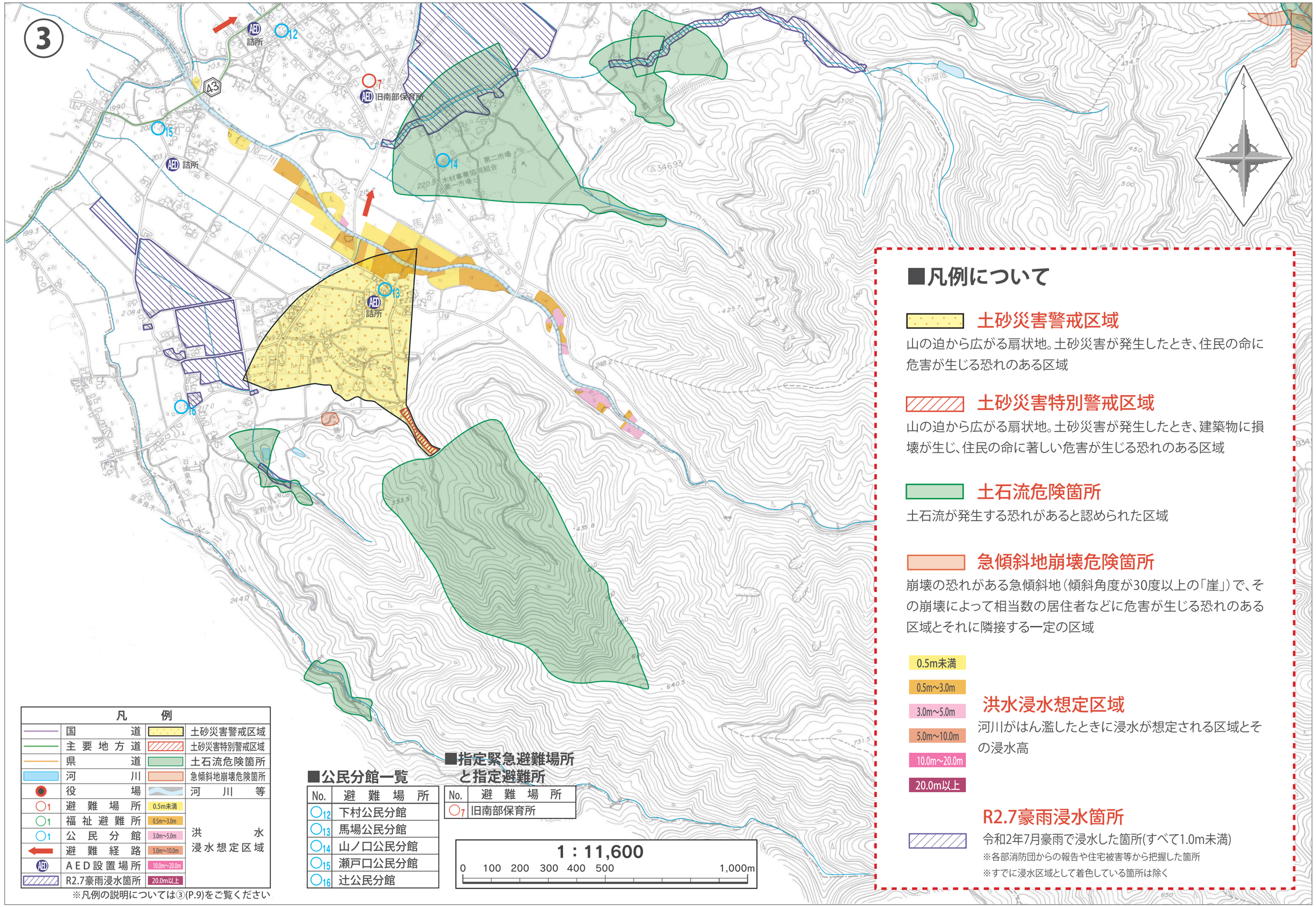
国道219号
国道388号
球磨川
小渕橋
木橋
落鶴農村公園
牧良川
前田橋
中鶴橋
鬼籠橋
日吉橋
西前田橋
都川橋
佐本橋
大王神社
里宮神社
八王寺神社
老人クラブ木工作業所
湯前駅
くまがわ鉄道
△225.45
221.0
182.6
182.0
181.2
184.39
195.3
202.3
205.5
200.4
198.0
190.6
上里1
上里2
上里3
野中田1
野中田2
野中田3
上染田
下染田
古城
下城
植木
下里
中里

凡例

国道		土砂災害警戒区域	
主要地方道		土砂災害特別警戒区域	
県道		土石流危険箇所	
河川		急傾斜地崩壊危険箇所	
役場		河川等	
○1	避難場所	0.5m未満	洪水浸水想定区域
○1	福祉避難所	0.5m~3.0m	
○1	公民分館	3.0m~5.0m	
	避難経路	5.0m~10.0m	
AED	AED設置場所	10.0m~20.0m	
	R2.7豪雨浸水箇所	20.0m以上	

※凡例の説明については③(P.9)をご覧ください

1：7,000
0 100 200 300 400 500m



■凡例について

土砂災害警戒区域
山の迫から広がる扇状地。土砂災害が発生したとき、住民の命に危害が生じる恐れのある区域

土砂災害特別警戒区域
山の迫から広がる扇状地。土砂災害が発生したとき、建築物に損壊が生じ、住民の命に著しい危害が生じる恐れのある区域

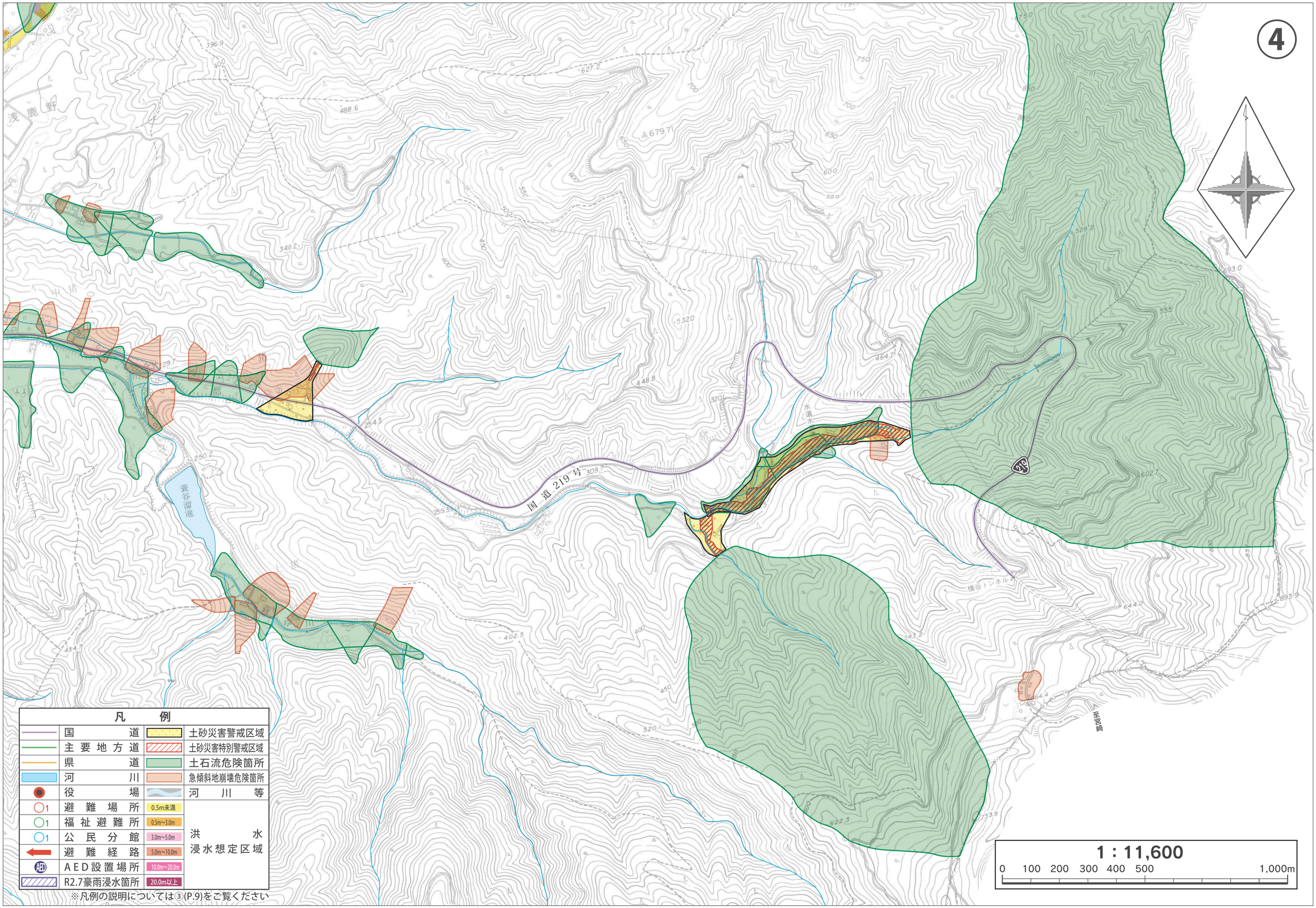
土石流危険箇所
土石流が発生する恐れがあると認められた区域

急傾斜地崩壊危険箇所
崩壊の恐れがある急傾斜地（傾斜角度が30度以上の「崖」）で、その崩壊によって相当数の居住者などに危害が生じる恐れのある区域とそれに隣接する一定の区域

洪水浸水想定区域
0.5m未満
0.5m~3.0m
3.0m~5.0m
5.0m~10.0m
10.0m~20.0m
20.0m以上

河川がはん濫したときに浸水が想定される区域とその浸水高

R2.7豪雨浸水箇所
令和2年7月豪雨で浸水した箇所(すべて1.0m未満)
※各部消防団からの報告や住宅被害等から把握した箇所
※すでに浸水区域として着色している箇所は除く



※凡例の説明については③(P.9)をご覧ください

5

■公民分館一覧

No.	避難場所
○1	浜川公民分館
○3	古城公民分館

凡例

	国道		土砂災害警戒区域
	主要地方道		土砂災害特別警戒区域
	県道		土石流危険箇所
	河川		急傾斜地崩壊危険箇所
	役場		河川等
○1	避難場所	0.5m未満	洪水浸水想定区域
○1	福祉避難所	0.5m~3.0m	
○1	公民分館	3.0m~5.0m	
	避難経路	5.0m~10.0m	
AED	AED設置場所	10.0m~20.0m	
	R2.7豪雨浸水箇所	20.0m以上	

※凡例の説明については③(P.9)をご覧ください

1：15,000

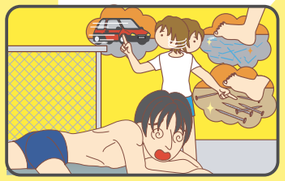
0 500m 1,000m

救急蘇生法（心肺蘇生とAED操作）

【参考引用文献】
救急蘇生法の指針2015(市民用)
救急蘇生法の指針2015(市民用・解説編)
注意：この救急蘇生手順で期待される成果が得られなかったとしても、製造者・販売者に責任を追及することはできません。



1. 安全を確認する



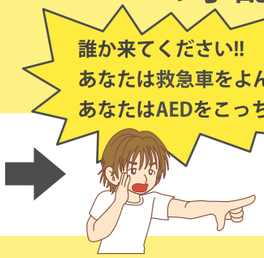
・人を助ける前に自分の安全を確保

2. 反応を確認する



・やさしく肩をたたきながら大声で呼びかける

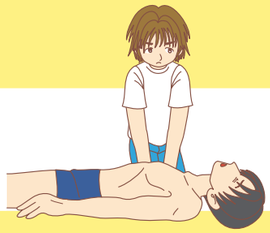
3. 119番通報とAEDの手配



・周りへ大声で助けを求める
・119番へ通報する
・AEDを手配する

119番通報後はすぐに電話を切らず、救急隊員の指示をあおぐ。

4. 呼吸を確認する



・確認は10秒以上かけない

・胸と腹部が動いていない
呼吸が止まっている
・呼吸をしているか「分からない」

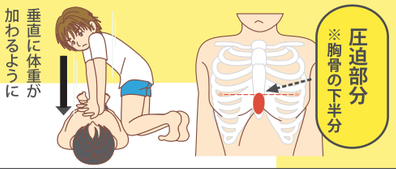
反応はないが、普段どおりの呼吸をしているとき

救急隊の到着を待ち、呼吸が普段どおりでなくなったら、ただちに胸骨圧迫を開始する。



5. 心肺蘇生

胸骨圧迫を行う(心臓マッサージ)





胸に当てる部分

・1分間に少なくとも100～120回のテンポで
・大人は胸が少なくとも約5cm沈むまで
・中学生までは胸の厚みの約1/3沈むまで
・胸が元の高さに戻るように、しっかり圧迫を解除
・胸から離れると、位置がずれるので注意

救助者が複数いるときは1～2分を目安に交代

・**乳児(一歳未満)の圧迫位置と深さ**
左右の乳頭を結ぶ線の少し足側を、指二本で胸の厚みの1/3を圧迫。

人工呼吸の技術と意志があるとき

胸骨圧迫30回、気道を確保し、人工呼吸２回



❶ 胸骨圧迫30回
垂直に体重が加わるよう両肘をまっすぐに

❷ 気道を確保
片手で額を押さえてあごの先端を持ち上げる

❸ 人工呼吸2回
胸が上がるのが見えるまで約１秒かけて吹き込む。吹き込みは２回

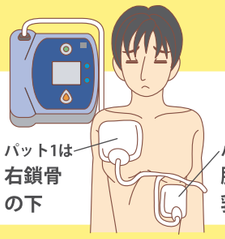
・1歳未満の乳児には、口と鼻を同時に自分の口に含んで呼気を吹き込む
・人工呼吸ができない、口と口の接触をためらうときは胸骨圧迫を続ける
・人工呼吸で胸骨圧迫を中断するときは10秒以内まで

AEDが到着するまで 5. を繰り返す

AEDがないとき・・・

救急隊員が来るまで 5. を繰り返す

AEDの使用
6-1. 電源オン、パッド装着



・AEDを頭の近くに置く
・AEDの指示に沿って電極パッドを装着

注意！
- 胸が濡れているときは、タオルで拭いてから電極パッドを貼り付ける
- 小学生に入るまでの子どもは小児用パッドや小児用モードキーを使用。小児用がないときは成人用パッドを使用する
- ペースメーカーがあるときは、でっぱりから３㌢離してパットを付ける
- 貼り薬と貴金属は外す

6-2. 電気ショック

AEDが心電図の解析を自動的で開始

ショックが必要です！



・倒れている人の体には触れない
・AEDのアナウンスにしたがって電気ショックを行う

ショックは不要です

ショックが必要です！

AEDの指示にしたがう

ショックは不要です

ただちに…

6-2.へ戻る

・呼吸が回復してもAEDの電極パッドは剥がさず、電源は入れたままにする

7. 救急隊へ引き継ぐ

5.と 6.の繰り返し